

シンポジウム報告

歯学士教育課程におけるプロフェッショナリズム教育の構築

木尾哲朗¹⁾ 俣木志朗²⁾ 藤崎和彦³⁾ 大西弘高⁴⁾
小川哲次⁵⁾ 鬼塚千絵¹⁾ 西原達次¹⁾

抄録 欧州や米国歯科医学教育のグローバルスタンダードと比較して、わが国の歯学士教育課程ではプロフェッショナリズム教育が十分であるとはいえない。わが国では、日本医学教育学会倫理プロフェッショナルリズム委員会が2011年に医師養成課程におけるプロフェッショナルリズム教育の導入と具体化について、所属施設でプロフェッショナルリズムの明示、プロフェッショナルリズムの定義の作成、非公式カリキュラムの影響および精神論だけではない現実的なプロフェッショナルリズム教育について提言を出した。プロフェッショナルリズムを備えた歯科医師の養成は社会のニーズであることから、医学教育のみならず歯科医学教育においてもプロフェッショナルリズム教育について議論することは重要である。そこで2011年の春に実施したプロフェッショナルリズム教育のシンポジウムの演者により、以下の項目についてプロフェッショナルリズム教育の考え方についてまとめた。

1. プロフェッショナルリズムの定義とその教育
2. プロフェッショナルリズム教育とその方略
3. プロフェッショナルリズム教育とその評価

今後は国際社会を視野に入れた日本版プロフェッショナルリズム教育の導入の必要性がある。プロフェッショナルリズム教育は、学習者のレディネス（準備状況）を意識しながら、入学初期から継続的かつ実践的に行わなければならない。学習者が繰り返し学習経験を積むことのできる環境の提供が求められる。

キーワード 歯科医学教育, プロフェッション, プロフェッショナルリズム, 省察的实践, 社会契約

はじめに

欧米の歯科医学教育学会は、歯学部学生が卒業する際に身につけておく能力（コンピテンス）を明示しており、プロフェッショナルリズムはそのメジャーコンピテンスの一つとして掲げられている（表1, 2）。そのマイナーコンピテンスをみると、欧州では15のコンピテンスと6つの知識が、米国では2つのコンピテンスが書かれている^{1,2)}。さらに米国では歯科医学教育におけるプロフェッショナルリズムについてプロフェッショナルリズムをSix Values（Competence, Fairness, Integrity, Responsibility, Respect and Service-mindedness）に定義し、歯科医学教育の主体を構成する4者（Students,

表1 欧州歯科医学教育学会の卒業時コンピテンス

I	Professionalism
II	Interpersonal, Communication and Social Skills
III	Knowledge Base Information and Information Literacy
IV	Clinical Information Gathering
V	Diagnosis and Treatment Planning
VI	Therapy : Establishing and Maintaining Oral Health
VII	Prevention and Health Promotion

Profile and competences for the graduating European Dentists¹⁾

表2 米国歯科医学教育学会の歯科医師となるコンピテンス

1.	Critical Thinking
2.	Professionalism
3.	Communication and Interpersonal Skills
4.	Health Promotion
5.	Practice Management and Informatics
6.	Patient Care
	A. Assessment, Diagnosis, and Treatment Planning
	B. Establishment and Maintenance of Oral Health

Competencies for the New General Dentists²⁾

¹⁾九州歯科大学

²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 全人的医療開発学講座 歯科医療行動科学分野

³⁾岐阜大学医学部医学教育開発研究センター

⁴⁾東京大学医学教育国際協力研究センター

⁵⁾広島大学病院口腔総合診療科

平成24年12月12日受付

平成25年1月21日受理